



Asian Productivity Organization "The APO in the News"

Name of publication: The Recycling Economy Times (26 January, 2015, Japan)
Page: p. 26-27(第3部)



開会のあいさつをする長尾九郎氏

台湾の廃棄物は減少傾向
長尾九郎氏の挨拶
長尾九郎氏(左)は、26日、東京・有明コロシアムで開かれた「APO国際会議」の冒頭、挨拶を述べた。長尾氏は、APOの設立から10年が経ち、アジアの生産性向上に貢献していることを述べた。また、台湾の廃棄物削減の取り組みについて、長尾氏は「台湾は、資源の有効活用と廃棄物の削減に力を入れている」と述べた。

「APO国際会議」は、26日、東京・有明コロシアムで開かれた。APOの設立から10年が経ち、アジアの生産性向上に貢献していることを述べた。また、台湾の廃棄物削減の取り組みについて、長尾氏は「台湾は、資源の有効活用と廃棄物の削減に力を入れている」と述べた。

APO国際会議リポート

持続可能な緑の生産性について議論



廃棄物の削減について語る森島和生社長

製造段階で廃棄物を削減
森島和生社長の挨拶
森島和生社長(左)は、26日、東京・有明コロシアムで開かれた「APO国際会議」の冒頭、挨拶を述べた。森島氏は、製造段階での廃棄物削減の重要性について述べた。また、資源の有効活用と廃棄物の削減の取り組みについて、森島氏は「資源の有効活用と廃棄物の削減は、持続可能な生産性の鍵である」と述べた。



開会後にAPO代表者による記念撮影が行われた

「APO国際会議」は、26日、東京・有明コロシアムで開かれた。APOの設立から10年が経ち、アジアの生産性向上に貢献していることを述べた。また、台湾の廃棄物削減の取り組みについて、長尾氏は「台湾は、資源の有効活用と廃棄物の削減に力を入れている」と述べた。

製造段階で廃棄物を削減
森島和生社長の挨拶
森島和生社長(左)は、26日、東京・有明コロシアムで開かれた「APO国際会議」の冒頭、挨拶を述べた。森島氏は、製造段階での廃棄物削減の重要性について述べた。また、資源の有効活用と廃棄物の削減の取り組みについて、森島氏は「資源の有効活用と廃棄物の削減は、持続可能な生産性の鍵である」と述べた。

「APO国際会議」は、26日、東京・有明コロシアムで開かれた。APOの設立から10年が経ち、アジアの生産性向上に貢献していることを述べた。また、台湾の廃棄物削減の取り組みについて、長尾氏は「台湾は、資源の有効活用と廃棄物の削減に力を入れている」と述べた。



講演者には説明書が贈られた



1日目の終わりにて交流会が催された

「APO国際会議」は、26日、東京・有明コロシアムで開かれた。APOの設立から10年が経ち、アジアの生産性向上に貢献していることを述べた。また、台湾の廃棄物削減の取り組みについて、長尾氏は「台湾は、資源の有効活用と廃棄物の削減に力を入れている」と述べた。

製造段階で廃棄物を削減
森島和生社長の挨拶
森島和生社長(左)は、26日、東京・有明コロシアムで開かれた「APO国際会議」の冒頭、挨拶を述べた。森島氏は、製造段階での廃棄物削減の重要性について述べた。また、資源の有効活用と廃棄物の削減の取り組みについて、森島氏は「資源の有効活用と廃棄物の削減は、持続可能な生産性の鍵である」と述べた。

「APO国際会議」は、26日、東京・有明コロシアムで開かれた。APOの設立から10年が経ち、アジアの生産性向上に貢献していることを述べた。また、台湾の廃棄物削減の取り組みについて、長尾氏は「台湾は、資源の有効活用と廃棄物の削減に力を入れている」と述べた。

「APO国際会議」は、26日、東京・有明コロシアムで開かれた。APOの設立から10年が経ち、アジアの生産性向上に貢献していることを述べた。また、台湾の廃棄物削減の取り組みについて、長尾氏は「台湾は、資源の有効活用と廃棄物の削減に力を入れている」と述べた。



マレーシア、モンゴルの大臣らが記者会見に応じた

「APO国際会議」は、26日、東京・有明コロシアムで開かれた。APOの設立から10年が経ち、アジアの生産性向上に貢献していることを述べた。また、台湾の廃棄物削減の取り組みについて、長尾氏は「台湾は、資源の有効活用と廃棄物の削減に力を入れている」と述べた。

廃棄物削減や再エネを活用



環経協会では自身のリサイクル事例を紹介した



NEDOの長瀬副会長は研究開発事例を紹介した

「われわれは、資源の循環を促進し、廃棄物の削減を推進する。これは、環境保護と経済成長の両立を実現するための重要な課題である。我々の取り組みは、持続可能な社会の実現に貢献するものである」と、環経協会の代表者は自身のリサイクル事例を紹介した。

また、NEDOの長瀬副会長は、最新の研究開発事例を紹介した。彼は、再生可能エネルギーの活用と廃棄物削減の取り組みについて詳しく説明した。

「エネルギー効率を向上させることは、環境保護と経済成長の両立を実現するための重要な課題である。我々の取り組みは、持続可能な社会の実現に貢献するものである」と、エネルギー効率向上の取り組みについて説明した。

「台湾国内のリサイクル事例も紹介した」と、台湾国内のリサイクル事例を紹介した。彼は、台湾国内でのリサイクル率の向上と廃棄物削減の取り組みについて詳しく説明した。



講演者と聴講者が参加するパネルディスカッションも行われた



環経協会では台北市内のリサイクル施設の視察が行われた



リサイクル製品を生産しているODA A/Tテクノロジーも訪れた

台湾国内のリサイクル事例も紹介

「台湾国内のリサイクル事例も紹介した」と、台湾国内のリサイクル事例を紹介した。彼は、台湾国内でのリサイクル率の向上と廃棄物削減の取り組みについて詳しく説明した。

また、環経協会では台北市内のリサイクル施設の視察が行われた。視察では、最新のリサイクル技術と設備について詳しく説明を受けた。

さらに、リサイクル製品を生産しているODA A/Tテクノロジーも訪れた。同社は、リサイクル材を活用した製品の生産に取り組んでいる。

再生可能エネルギー 10年で3倍に

「再生可能エネルギーは、環境保護と経済成長の両立を実現するための重要な課題である。我々の取り組みは、持続可能な社会の実現に貢献するものである」と、再生可能エネルギーの取り組みについて説明した。

また、Uwe Juergen Bauer氏は再生可能エネルギーの現状を説明した。彼は、再生可能エネルギーの生産量の増加とコスト削減の取り組みについて詳しく説明した。

さらに、再生可能エネルギーの活用と廃棄物削減の取り組みについて詳しく説明した。